

非食品・食品一括物流を2024年9月20日（金）から稼働開始

東北6県に387店舗（2024年2月期末 現在）のドラッグストアを展開する株式会社薬王堂（以下薬王堂）は、卸と物流業務の委託先である株式会社 PALTAC（以下 PALTAC）とサプライチェーン全体のさらなる最適化・効率化を目指し、非食品と食品一括物流（PALTAC 物流センターにおける荷受け・保管・出荷、店舗への配送）を2024年9月20日（金）から稼働開始いたしましたのでお知らせいたします。

・取り組みの狙い

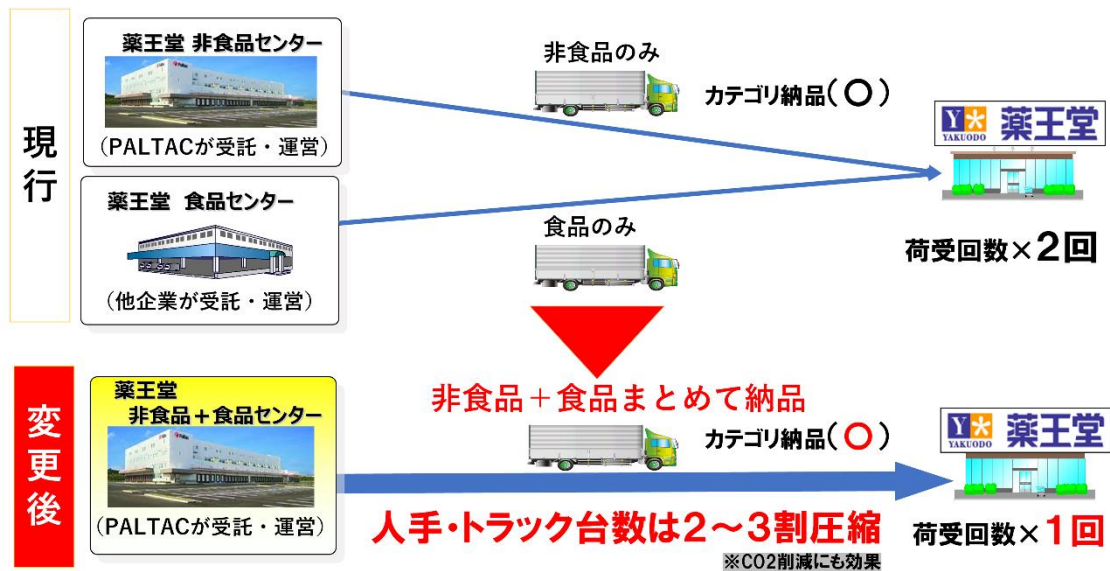
薬王堂と PALTAC が属するサプライチェーンは、2024年問題をはじめ人手（ドライバー）不足に端を発する配送費・人件費やエネルギーコストの高騰といった経済的課題や、働き方改革・ホワイト物流・二酸化炭素排出量の削減といった社会的課題など様々な課題に直面しています。これまで PALTAC と他企業様へ別々で委託している薬王堂の非食品部門及び食品部門の物流を、南東北エリアにおいて PALTAC へ一括して委託し、これらの課題を同時に解決することを目指します。

今回、一括物流の対象となる食品は、非食品部門との「管理、出荷、配送」における親和性と生産性を踏まえ、飲料や菓子など温度管理が不要な常温食品から取組んでまいります。これらを一括して納品することにより、配送に要する人手やトラック台数及び二酸化炭素排出量は2～3割減少し、配送費の削減やホワイト物流の推進などにつながります。また、配送回数の減少に伴い、店舗での荷受け回数が減少することに加えて、現在、非食品で行っているカテゴリ納品を食品にも導入することで、陳列作業が軽減され、働き方改革にもつながると考えています。

・薬王堂と PALTAC の取り組みについて

薬王堂と PALTAC は、サプライチェーン全体の最適化・効率化が持続可能な社会の構築につながるとの考えを共有し、過去から協働で取組みを進めております。2020年7月には、『キャリアを活用した一貫ユニットロード化』の取組において経済産業省が事務局を務める製・配・販連携協議会「サプライチェーンイノベーション大賞」で「大賞」を受賞。2022年7月の「返品削減」及び「在庫偏重解消による販売機会ロスの削減」と、2023年7月の「サプライチェーンを活用した資源再生の効率化」では「優秀賞」を受賞しました。本取組みも、この考えに沿ったものであり、サステナブルな社会の実現・両社の持続的成長に向けて着実に歩みを進めてまいります。

• 本取り組みのイメージ図



※カテゴリ納品：店舗の売り場構成に合わせて、カテゴリごとに商品を分類して納品すること。
陳列・補充時の移動が減少し、店舗作業の負担軽減につながります。

• PALTAC における物流センター増設の概要

一括物流の委託開始にあたり、PALTAC は物量増加に対応するため、同社所有の既存物流センターであるR D C宮城を増設し、年間出荷能力を350億円から550億円まで拡大しました。PALTACは同センターを「卸売事業向けと薬王堂の非食品部門向けの物流」で運用してまいりましたが、今回の出荷能力拡大によりセンター運営に余裕を持たせることで、一括物流の拠点として活用するとともに、既存の物流においても他センターへの商品移動量を削減し、配送の効率をさらに高めてまいります。

項目	既存棟	増設	合計
出荷能力	350億円	200億円	550億円
建築面積	3,476坪	2,088坪	5,564坪
延べ床面積	10,100坪	3,541坪	13,641坪



【本リリースに関する報道関係者からのお問い合わせ先】

株式会社薬王堂 経営企画部 泉山 徳朗 / 古川 朱莉
TEL 019-621-5021 (代表)